

ひきじだい

令和4(2022)年1月11日

睦月(1月)号

大和市立
引地台小学校
HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL

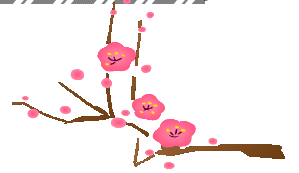


明けまして

おめでとうございます

引地台小学校職員一同

「年齢だけの成人ではなく人の役に立つ人としての成長」



新しい年を迎え、穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。年末年始は、昨年度よりは外出の機会が増え、3密を避けるという感染予防をされていたとは思いますが、人と会うことも少し多くなった年明けになったのではないのでしょうか。しかし、新たな変異種オミクロン株などへの置き換えにより、全国の感染者数も増えており、神奈川県でも新型コロナウイルスの感染症の拡大が懸念されております。今後の状況を見極めながら、3学期も取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。

さて、明治以降、満20歳とされてきた成人の定義が見直され、今年4月施行される改正民法では、18歳で成人を迎えることとなります。これは、年齢だけの成人ではなく、人の役に立つ、中身のある成人として、将来、成長し、活躍するように求められています。

本校の学校重点目標の「自分からかがやく」には、子どもたちが自分の事だけではなく、他の人に対して、進んで「役に立ちたい。」という思いを持って欲しいという願いが込められています。

例えば、計画委員が、みんなの「役に立ちたい。」という気持ちから「あいさつ運動」に取り組んでいます。これは、人と人が関わる基本であるあいさつを通して、「みんなを元気にしたい。」という思いが行動として表れています。他にも、高学年による委員会活動、クラスでの当番活動、係活動、また、上の学年の子どもが中心となって、下の学年の子どもたちの面倒を見ながら遊ぶ「にじいろ遊び」もその一つです。

人間はどんな人でも能力や才能を発揮したいという自己実現の気持ちを持っています。自己実現とは、自分だけのものと考えがちですが、実はそうではなく、他人との関わりにおいて成されるものです。自分が人のため、社会のために役立っている喜びを実感することは、自らの成長への原動力になると言えます。身近なことで、周りの人に貢献できるような内面の育成を目指していきたいと思えます。

令和4年が始まりました。不安定な世の中が、まだまだ続きそうですが、その中であっても学校教育目標の「豊かな人間性を持ち、よりよく生きる子」を育てるために地道に丁寧に取り組んでいくことが必要だと考えています。

(校長)